

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年10月13日(2016.10.13)

【公表番号】特表2015-522359(P2015-522359A)

【公表日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2015-050

【出願番号】特願2015-521798(P2015-521798)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/72 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/58 3 1 5

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流動性材料を用いて髓内(IM)釘を被覆する方法であって、

チューブ状部材内へ、当該チューブ状部材の挿入端から当該チューブ状部材の対向端に向かって、前記IM釘を前進させる工程と、

前記チューブ状部材上の第1位置において側壁を貫通して規定されている第1入口を介して、流動性材料を前進させる工程と、

前記流動性材料の硬化後に、当該硬化された流動性材料をその上有する前記IM釘から、前記チューブ状部材を取り除く工程と、
を備え、

前記IM釘を前進させる工程は、前記チューブ状部材の前記側壁の内側円筒表面上に形成されて長手方向に延びている少なくとも2つの突出部に沿って、前記IM釘を摺動させて移す工程を有する

ことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記IM釘を前進させる工程は、当該IM釘の先端が前記チューブ状部材の前記対向端における凹表面に係合するまで、当該IM釘を当該チューブ状部材内へと前進させる、という工程を有している

ことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記チューブ状部材上において前記第1入口に近接して形成されたボスに、流動性材料の供給装置を接続する工程

を更に備えたことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記接続する工程は、前記流動性材料の供給装置を前記チューブ状部材に、ネジ式に接続する工程、ルアーロック式に接続する工程、及び、ノズル式に接続する工程、のうちの1つを含んでいる

ことを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記チューブ状部材上の前記第1位置とは異なる第2位置において前記側壁を貫通して

規定されている第2入口を介して、流動性材料を前進させる工程を更に備えたことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記チューブ状部材の内部を前進する前記流動性材料を監視する工程と、実質的に前記第2入口に向かって前進している前記流動性材料に基づいて、前記第1入口を介しての当該流動性材料の当該前進を停止させる工程と、を更に備えたことを特徴とする請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記チューブ状部材を除去する工程は、当該チューブ状部材を切断して被覆された前記IM釘から取り除く工程を、含んでいることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記チューブ状部材を除去する工程は、当該チューブ状部材に沿ってスリットを形成させる当該チューブ状部材上に配置された引張部材を引っ張る工程、を含んでいることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記チューブ状部材内に前記IM釘を前進させる工程に先立ち、当該IM釘の一端部上にシースを配置する工程を更に備えたことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項10】

流動性材料を用いて體内(IM)釘を被覆する方法であって、
チューブ状部材内へ、当該チューブ状部材の挿入端から当該チューブ状部材の対向端に向かって、前記IM釘の遠位端が前記チューブ状部材の前記対向端における凹表面に係合するまで前記IM釘を前進させる工程と、

前記チューブ状部材上の第1位置において側壁を貫通して規定されている第1入口を介して、流動性材料を前進させる工程と、

前記流動性材料の硬化後に、当該硬化された流動性材料をその上有する前記IM釘から、前記チューブ状部材を取り除く工程と、
を備えた

ことを特徴とする方法。

【請求項11】

前記チューブ状部材内に前記IM釘を前進させる工程に先立ち、当該IM釘の一端部上にシースを配置する工程
を更に備えたことを特徴とする請求項10に記載の方法。

【請求項12】

流動性材料を用いて體内(IM)釘を被覆する方法であって、
前記IM釘の一端上にシースを配置する工程と、
チューブ状部材内へ、当該チューブ状部材の挿入端から当該チューブ状部材の対向端に向かって、前記IM釘を前進させる工程と、

前記チューブ状部材上の第1位置において側壁を貫通して規定されている第1入口を介して、流動性材料を前進させる工程と、

前記流動性材料の硬化後に、当該硬化された流動性材料をその上有する前記IM釘から、前記チューブ状部材を取り除く工程と、
を備えた

ことを特徴とする方法。